

## 令和4年度の市民参画協働推進事業の主な取り組みと 令和5年度の市民参画協働推進事業の主な取り組み予定

### 令和4年度の主な取り組み

#### 市民参画協働推進本部

##### 市民参画協働政策研究会（協働ワーキング）

市民と行政との協働によるまちづくりを考え、「長岡京市オリジナルの協働の形」を探るために立ち上げられた若手ワーキングチームです。今年度で14年目となっています。

税務課や商工観光課、デジタル戦略課などさまざまな部署から若手職員9名が参加しています。

##### ➤ 市民参画協働研修会の企画立案

⇒毎年度、職員向けの市民参画協働研修を開催しており、令和4年度は新規採用の1年目職員を対象とした。

⇒研修内容は「NPOとNPO法人について」「協働とはなにか」など、基礎的な内容の講義と、庁内での横断的な協働をすすめる第一歩として、職場をより楽しくするアイデアを話し合うグループワークを実施。

（協働ワーキングメンバーもグループワークに参加）

##### ➤ 楽しい会議のやり方講座の主催

⇒庁内の協働を進め、職員同士の関係性の質の向上を図る目的から、

「おもしろ会議ファシリテーター研修 全2回」を主催し、

ワーキングメンバー＋庁内職員 延べ25名が参加した。

##### ➤ （仮称）自治振興条例策定に係る市民ワークショップ「自分ごと化会議」運営協力

【（仮称）自治振興条例の事業詳細についてはP5に記載】

##### （仮称）自治振興条例検討プロジェクトチーム

（仮称）自治振興条例策定に係る市民ワークショップ「自分ごと化会議」に参加し、市民参画による政策形成手法などを学び、市民の意見を取り入れ、庁内での意見調整を行うために、令和2年度に新設されたプロジェクトチームです。協働ワーキングよりも中堅の主査～係長職員を中心に、令和4年度は9名が参加しています。

##### ➤ （仮称）自治振興条例策定に係る市民ワークショップ「自分ごと化会議」運営協力

【（仮称）自治振興条例の事業詳細についてはP5に記載】

## 市民活動応援補助金

長岡京市における市民参画と協働のまちづくりを推進するため、市内で営利を目的とせず、市民が自主的かつ自立的に行う公益的な事業に対して、補助金を交付しています。

### 補助金交付状況（令和5年2月1日現在）

種類	申請数	採択数	交付予定金額	備考
市民提案型協働事業コース （最大30万円補助）	4	4	891,000円	
市民協働スタートアップコース （立ち上げ3年以下の団体の事業が対象。最大5万円補助）	4	4	200,000円	
小学校区コミュニティ活動応援コース	1	1	60,000円	地域コミュニティ協議会設置校区は除く
合計	9	9	1,151,000円	

- 令和4年度採択事業の例 ⇒ 子育て世代・高齢者・引きこもり経験者等の交流の場づくり、西山の森林荒廃の現状について課題共有開催 ほか
- 小学校区コミュニティ活動応援コースでは、地域コミュニティ協議会未設立地域である「神足小学校区」の校区まつりに対し補助金を交付。

### 市民活動応援補助金活動発表会

市民活動サポートセンターとの共催で、市民活動応援補助金交付団体と、市民活動サポートセンター登録団体の活動発表会を開催予定。

- 令和5年3月18日（土）中央公民館にて開催予定。
- 助け合いとつながりのまちづくり条例キックオフイベント、令和5年度補助金の説明会も同時開催

### 令和5年度市民活動応援補助金の変更点（第1回懇話会会議からの変更点）

- スタートアップコース上限金額を5万円から7.5万円に
- 決算報告時、事業収入により収入超過であった場合、次年度用に繰越を許可
- 規則・会則で「非営利で公益活動を行っていること」の明記は今まで通り求めない

## 市民活動サポートセンター

市民や非営利市民活動団体の社会貢献活動に対する支援を行うため、長岡京市立総合交流センター（バンピオ1番館）1階に市民活動サポートセンターを設置しています。その管理運営については、指定管理者制度を導入しており、「一般社団法人市民活動ネット・チーム長岡京」が運営しています。

### 主な事業

- サポセンフェスティバル（登録団体チラシコンテスト同時開催）
- サポセン登録団体交流会（市民活動応援補助金交付団体の活動発表会と併せて開催予定）

## 市民活動オフィスフロア

「単独で事務所を持ちたいけど、費用が高くて借りることができない」などの悩みを持つNPO法人や市民活動団体、ボランティアグループなど、公益的な事業を行う市民活動団体の事務所機能を提供するため、長岡京こらさ（多世代交流ふれあいセンター）2階に「市民活動オフィスフロア」を開設しています。有料で事務所機能や、他団体との情報交換の場や、活動の横への広がりを図る交流の場としてご利用いただいています。

- 令和4年度は10ブース中5団体6ブースが利用中。

## 地域コミュニティ活性化事業

地域コミュニティ協議会は、小学校区ごとに設立されている住民自治組織です。自治会やPTA、少年補導委員や民生児童委員、総合型地域スポーツクラブなど小学校区内のさまざまな団体や個人が横につながり、フラットな形で情報交換や協力をしていくことによって、地域コミュニティの活性化を促すことを目的として設立されています。

現在、長岡京市内で神足小学校区を除く9小学校区において地域コミュニティ協議会（長岡第六小学校区については準備委員会）が設立され、地域活性化のためのさまざまな事業を各種団体と協力しながら実施しています。市では各コミュニティ協議会に事業実施のための補助金を交付し、設立後間もない協議会については、事務局を支援するための地域コーディネーターを配置しています。

- 令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響も落ち着いてきたため、少しずつイベントも復活してきてはいます。
- 10月最終日曜日の長岡京市防災の日に、避難所運営訓練を市内全十小学校で行いました。

#### 長法寺小学校区 ※事務支援に地域コーディネーターを配置

コミュニティニュースの発行、地域パトロール、学校環境整備、年末パトロール など

#### 長岡第三小学校区

コミュニティニュースの発行、校区内防犯パトロール、校内清掃 など

#### 長岡第四小学校区

コミュニティニュースの発行、校区内防犯パトロール、小学生ドッジボール大会 など

#### 長岡五小学校区

コミュニティニュースの発行、竹林再生ボランティア事業（タケノコ掘り、土入れなど）、防犯パトロール、学校一斉清掃除草作業、校区総合防災訓練（コミュニティ協議会役員及び各地域自主防災役員のみで実施）、高齢者搜索訓練 など

#### 長岡第七小学校区

コミュニティニュースの発行、小畑川クリーン作戦 見回りのみ（地域コミュニティ協議会役員ほか）、校区内夜間防犯パトロール、みそづくり 材料配布、校区スタンプラリー（予定）、体育館清掃（予定）、ピオトープ整備作業（予定） など

#### 長岡第八小学校区 ※事務支援に地域コーディネーターを配置

コミュニティニュースの発行、スポーツ体験会、八小文化まつり作品展(オンライン開催)、少年補導パトロール など

#### 長岡第九小学校区

コミュニティニュースの発行、小畑川クリーン作戦、校区安全パトロール、スポーツフェスティバル、あいさつ運動、寄せ植え教室 など

#### 長岡第十小学校区

コミュニティニュースの発行、校区防災だよりの発行、学校清掃協力、長十フェスティバル～スポーツ体験～、年末校区パトロール など

## （仮称）自治振興条例に係る会議・ワークショップ

社会の変化に伴って自治会加入率や地域力の低下が社会的な問題となっているなか、地縁団体や市民活動団体、行政の果たすべき役割を明確にして、今後の地域運営・新しい自治のイメージを共有するルールを作るため、「（仮称）自治振興条例」の制定作業を令和2年度から進めています。

制定に向けて、令和3年度に引き続き、令和4年度は市民ワークショップ「自分ごと化会議」と「（仮称）自治振興条例検討委員会」を開催し、「助け合いとつながりのまちづくり条例」として令和5年1月1日に施行されました。

### 市民ワークショップ「自分ごと化会議」

自治会長や地域コミュニティ協議会関係者、市民活動団体、無作為抽出で選ばれた市民、庁内プロジェクトチームの計108名が集まり、地域課題とその解決策を議論するワークショップ。

参加者は「環境保全」「防災・防犯」「高齢者」「子ども・子育て」の4つの分科会に分かれ、それぞれのテーマごとに議論を行っています。

- 令和4年度は第6回・第7回の全2回開催。（条例検討委員会と合同開催）
- （仮称）自治振興条例検討プロジェクトチームメンバーは自分ごと化会議のメンバーとして参加し、市民とともに議論を行いました。
- 協働ワーキングメンバーは書記など運営側として参加しました。

### 意見交換会

「長岡京市をもっと良いまちにしたい」と思っている方、地域の役員などをしていなくても、今は何もしていなくても、何か地域とかかわっていきたいと考えている方と条例骨子案について意見交換を行いました。

- 7月2日・3日の午前・午後に分けて全4回開催。
- 協働ワーキングメンバーは書記など運営側として参加しました。

### （仮称）自治振興条例検討委員会

条例の案文を検討する会議。学識経験者、自治会長会や地域コミュニティ協議会、市民活動団体やその他地縁組織などから選出された11名により構成。

- 令和4年度は第5回から第10回の全6回開催。（内2回は自分ごと化会議と合同開催）
- 市民ワークショップ「自分ごと化会議」や意見交換会で出されたご意見等をもとに、条例案を議論しました。

### 助け合いとつながりのまちづくり条例キックオフイベント

3月18日（土）に条例施行を記念したキックオフイベントを開催。条例の説明のほか、市の補助金を使って活動している市民活動団体の活動報告やいろんな立場の参加者同士が「つながる」交流会を予定しています。

## パブリックコメント制度の運用

意見公募（パブリックコメント・パブコメ）手続制度とは、市が計画やプラン、条例など基本的な政策を立案する過程で、その趣旨・目的・内容等を市民に公表して意見を求め、提出された意見を踏まえて意思決定をするとともに、意見に対する市の考え方を公表する一連の手続きのことです。原則、市内に在住・在勤・在学している人が意見を提出することができます。

令和4年度は下記の通り5案件について意見公募が行われました。

案 件 名	ご 意 見 提 出 数
長岡京市国民保護計画（改定案）	0件
長岡京市文化財保存活用地域計画（案）	9件（2名）
長岡京市中小企業振興基本条例（案）	5件（2名）
長岡京市助け合いとつながりのまちづくり条例（案）	2件（2名）
長岡京市個人情報の保護に関する法律施行条例（案）	0件

## 立命館高等学校との協働

立命館高等学校との協働事業で、1年生の総合学習の授業の一環として、長岡京市内の様々な課題の解決に向けた考察を行っており、市は課題の提供、また課題に関する情報提供、授業の訪問、発表への講評などで協力をしています。市役所から提案した課題テーマは合計7あり、都市計画、男女共同参画、公園緑地、デジタル戦略、商工観光、交通政策、防災など多岐にわたります。令和4年10月5日に、各クラスの優秀班の発表会が行われ、市担当課も出席しました。

## 市民公募委員の登用推進、名簿作成

市民のみなさんからできるだけ幅広い意見を伺い、市政に反映していくため、市では審議会、懇話会などで市民公募委員を採用したり、市民ワークショップを開催したりしています。

その際、一般公募を行います。事前に市内在住の18歳以上の方から無作為に抽出した500人に「候補者名簿」への登録をお願いしています。必要に応じて、その名簿の中から市民公募委員の就任やワークショップの参加をお願いしています。

- ① 審議会などの公募委員候補者名簿  
審議会などの委員改選時や欠員が生じた際に、公募委員の就任を依頼します。  
名簿に登録される期間は2年間です。
- ② ワークショップなどの参加候補者名簿  
ワークショップなど市政への意見交換の場が開催される際、参加案内を送付します。  
名簿に登録される期間は4年間です。

### 令和4年2月1日作成名簿の利用状況（結果報告）

名簿利用期間	令和4年2月1日～令和6年1月31日
登録人数	「審議会などの公募委員候補者名簿」 19名 「ワークショップなどの参加候補者名簿」 45名

審議会などの公募委員候補者名簿から就任した人数 5名

ワークショップなどの参加候補者名簿を利用したワークショップ 1件1回（予定）

## 令和5年度の主な取り組み予定

### 市民参画協働推進本部

政策研究会（協働ワーキング）

職員研修

庁内連携推進に向けた取り組みの検討・実施

市民ワークショップ「自分ごと化会議」の運営

### 市民活動サポートセンターの管理運営

指定管理者制度によるセンター運営（3年目）

### 地域コミュニティ活性化

既存協議会（9校区）への支援

地域住民による自主運営に切り替えていけるように働きかけ

未設立校区（神足小校区）への設立働きかけ

テーマ型市民活動団体との連携

### 市民活動応援補助金制度の運用

審査会の開催

補助金の採択団体決定・交付

補助金制度の見直し

事業報告会の実施

### 助け合いとつながりのまちづくり条例に係る新規事業

第12条にかかる「考える場」の実施

### その他

市民活動オフィスフロアの運営

パブリックコメント制度の運用

ワークショップ・審議会等の市民参画登録制度“さんかく”の運用